安兵衛茶屋

昔、大覚野街道の往来がさかんであったころ、大覚野峠に安兵衛茶屋という茶屋があって、旅人の憩いの場となっていた。この茶屋を営んでいる安兵衛は、見かけによらずじつはたいへんな悪人で、大金を持っていそうな旅人を、隙を見て殺し、金銭を奪って、死体は近くの池に投げ捨てていた。いま茶屋の跡ははっきりしないが、郡境から少し西木村のほうに入ったところに、池の跡は残っている。